

令和8年度予算見積調書

課室名：河川環境課
担当名：設備担当
内線：5116

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業															
P50	河川施設震災対策費			一般会計	土木費	河川費	河川改良費	河川施設震災対策費															
事業期間	平成24年度～	根拠法	河川構造物の耐震性能照査指針	針路	01	災害・危機に強い埼玉の構築		SDGsゴール	11														
				分野施策	0103	治水・治山対策の推進		SDGsターゲット	11-5														
1 事業概要	河川管理施設の耐震化及び耐水化を推進し、災害に強いまちづくりを進める。			5 事業説明																			
	河川施設震災対策費	830,000千円		(1) 事業内容	河川施設震災対策費 河川施設地震・浸水対策の照査等、耐震性能詳細設計、耐震補強工事の実施により、耐震照査指針でのレベル2対応の確保、耐水性能の確保																		
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)				(2) 事業計画	神明排水機場 外5箇所 河川施設について、国土交通省平成24年2月通知の「河川構造物の耐震性能照査指針」のレベル2の確保 同じく河川施設について、国土交通省令和3年5月通知の「排水機場の耐水化対策について」の耐水性能の確保																		
3 地方財政措置の状況 緊急自然災害防止対策事業債 充當率100% 交付税措置 28.5～57.0%				(3) 事業効果	東日本大震災では多くの河川施設の被害が発生しており、県民の生活を守るために、地震に対する対策を施す必要がある。 河川構造物である排水機場の耐震性能照査に基づく耐震補強工事の実施により、レベル2地震動に対する性能を確保するとともに、県民の生命と財産を守る。 耐水性能を確保するとともに、排水機場の機能を維持し、県民の生命と財産を守る。																		
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.7人=6,650千円				(4) その他	過去の実績 <table> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>110,000</td> <td>165,000</td> <td>281,000</td> <td>606,000</td> <td>1,025,000</td> <td>903,000</td> </tr> </tbody> </table>						令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	事業費	110,000	165,000	281,000	606,000	1,025,000	903,000
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																	
事業費	110,000	165,000	281,000	606,000	1,025,000	903,000																	
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比														
決定額	830,000	830,000						0	△73,000														
前年額	903,000	903,000						0															

事業内訳書

事業名	河川施設震災対策費		
単位事業名	河川施設震災対策費	予算額	830,000千円

○歳入

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・ 土木債	830,000	△73,000	県単独河川改修事業債
合計	830,000	△73,000	

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	10,000	10,000	設計
工事請負費	820,000	△83,000	耐震化・耐水化工事
合計	830,000	△73,000	